

事務局からのお知らせ

事務所移転のお知らせ

2010年5月末より、そらべあ基金の事務所が、下記の住所へ移転いたしました。今後も、そらべあ基金をどうぞよろしくお願いいたします。

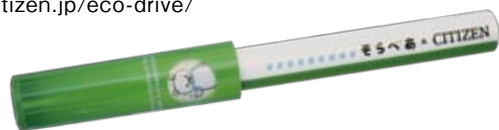
- 住所 〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町 1-9-7 岡本ビル 3F
- 電話番号 03-3251-5454
- FAX 番号 03-5256-7344

そらべあ × シチズン エコ・ドライブキャンペーン

そらべあ基金オフィシャルサポーターのシチズン時計では現在、「そらべあ×シチズン エコ・ドライブキャンペーン」を実施中です。光発電時計「エコ・ドライブ」の売上金の一部がそらべあ基金に寄付され、公募で選ばれた幼稚園・保育園に太陽光発電設備が贈られます。なお、キャンペーン期間中、対象ブランドの商品を購入すると、オリジナル「そらべあボールペン」がプレゼントされます。

◇そらべあ × シチズン エコ ドライブキャンペーン
(キャンペーン期間：6月10日～8月31日)

<http://citizen.jp/eco-drive/>



この夏は水出し冷茶でエコロジー&エコノミーに

茶葉と水を入れるだけで、旨みたっぷりのお茶が味わえます。お湯を沸かさずに作るので光熱費とCO₂の削減が可能(※)。マイボトルに入れて持ち歩けばペットボトルレスにもつながります。

そらべあ・水出し冷茶ポット 1,890円
お問い合わせ：(株)ロイヤルクラフト
<http://www.royal-c.jp/>



※電気ケトルでお湯を沸かして作った場合に比べて年間28.2kgのCO₂削減が可能(1年間で120回使用の場合、ロイヤルクラフト調べ)

お便り募集

今回のそらべあ便りはいかがでしたか。よろしければ感想や、励ましのお手紙、写真などを郵送ください。いただきましたお便りは、ペンネームでご紹介させていただくことができます。氏名(ふりがな、ペンネーム)、住所、メールアドレスを明記の上、Eメール、または郵便でご応募ください(写真にはタイトルを明記してください)。



メール：info@solarbear.jp
郵便：〒101-0063
東京都千代田区神田淡路町 1-9-7 岡本ビル 3F
そらべあ基金事務局 「お便り」係

事務局のつぶやき

みなさま、はじめまして！そらべあ基金の三澤です。3月から事務局でスタッフとして働き始め、早いもので4ヶ月が過ぎました。この4ヶ月、色々な活動に参加させていただきましたが、そらべあ基金がたくさんの方々に支えられ、成長を続けていることを実感できる期間でした。今回特集した環境教育ワークショップのように活動の幅を広げること、そしてスマイルプロジェクトを盛り上げていけるよう、私も全力で取り組んでいきます。これからもぜひ、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

そらべあスマイルプロジェクト これまでの実績

そらべあ発電所寄贈先

NEW

- 長野保育園(長崎県南島原市)
- どんぐり保育園(埼玉県鴻巣市)
- 光保育園(山梨県甲斐市)
- 水木わかば幼稚園(茨城県日立市)

(2010年6月30日現在、15基設置)



そらべあサポーターズクラブ

そらべあ基金の活動は、「そらべあサポーターズクラブ」会員のみなさまのご支援により支えられています。

- プレミアムサポーター：シチズン時計(株)、ソニー(株)、ソニー損害保険(株)、ソニーマーケティング(株)
- サポーター：ソニー企業(株)、(株)ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント、(株)ホンダソルテック、(株)ほんやら堂、(株)毎日新聞社
- 応援団：21社
- 個人・ファミリーサポーター：82名

(2010年6月30日現在)

そらべあ便り vol.7

編集：加藤聡
デザイン：古谷臨

NPO 法人そらべあ基金
東京都千代田区神田淡路町 1-9-7
岡本ビル 3F
TEL：03-3251-5454 FAX：03-5256-7344



そらべあ便り

幼稚園への環境出前授業がスタート！





「いらぬ電気は消しましょう。ポチ、ポチ、ポチッ!」

かわいらしい歌声が聞こえてくるのは、埼玉県さいたま市の岩槻バンビ保育園。3月12日、そらべあ基金としては初となる園児を対象とした環境教育のワークショップを、同保育園で開催しました。

子どもたちへの環境教育は、そらべあ基金が取り組むテーマの一つ。その効果をより高いものにするためにも、昨年、そらべあスマイルプロジェクトに当選し、太陽光発電設備からグリーンな電力を生み出している同園での実施となりました。

内容は、そらべあの劇で得た地球温暖化についての知識を、体操やお絵かきなどを通じて体に染み込ませるといったもの。ソニー株式会社のサポートのもと、企画から当日の進行までを東京造形大学の学生が中心となり行いました。

今回のワークショップの成果は、これからそらべあ基金が展開する環境教育活動の試金石となることでしょう。なおこのワークショップの様子は、当基金のWEBサイトで公開中です。ぜひご覧になってみてください。

URL:

<http://www.solarbear.jp/news/archives/2010/03/15-1805.php>



今や多くの企業やイベントなどで使用されている「そらべあグリーン電力証書」。その誕生秘話や活用方法を、イオスエナジーマネジメントの大家さん、日本風力開発の中本さんにお聞きしました♪

イオスエナジーマネジメント株式会社(日本風力開発グループ)
企画管理部課長 大塚篤史さん

日本風力開発株式会社 管理部総務グループ 中本ちやさん

風力発電から生まれる電気には、電気そのものの価値と、CO₂を出さない環境に良いという価値があるのですが、当初、日本風力開発ではその両方の価値をまとめて、地元の電力会社に売電していました。しかし、発電所を自分たちで運用している我々としては、やはり自社で生まれたものを直接消費者に届けたいという想いがあり、グリーン電力証書の発行を決めました。その際、以前から関わりのあった「そらべあ」というキャラクターを生かして、自然エネルギーを世の中に広く普及させたいと考えたことが、そらべあグリーン電力証書誕生のきっかけです。

よく質問を受けるのが、なぜわざわざ電気料金とは別に、証書を買わなくてはいけないのかということ。そこで挙げるのが、海外産のトマトと国産のトマトの例です。国産も海外産も見た目は全く変わらないのに、国産トマトは値段が高い。それは、安心・安全という付加価値があるからであって、グリーン電力も全く同じなんです。さらにそのグリーン電力証書の売り上げは、新たな風車の建設とそらべあ基金への寄付に使われるので、国産のエネルギーの拡大に寄与します。当社の創業の原点もまさにそこで、日本はエネルギーの90%以上を輸入に頼っている状態で、今後、石油が枯渇する可能性があるなか、国産のエネルギーが必ず必要となる。海外の排出権でCO₂をオフセットするのもいいですが、エネルギーの国産化という意味でも、グリーン電力証書は非常に有効なものだと思っています。

今年の4月から、東京都内の大規模事業者を対象にCO₂排出量の上

column 注目の環境・CSRのキーワードをピックアップ!

「スマートグリッド」

太陽光や風力などから生まれた電力は、その発電量が天候や時間帯に左右されるため、非常に不安定だ。さらに、電力需要が少ない時に、自然エネルギーの供給量が増えてしまうと、配電線に大量の電力が送られて負荷をかけてしまう。こうした自然エネルギー導入のカギを握るのが、電力の流れを供給側・需要側の両方から制御し、最適化できる次世代送電網「スマートグリッド」だ。

現在、青森県六ヶ所村の二又風力発電所では、ナトリウム硫黄電池(NAS電



ウェルカムボードとして使用されたそらべあグリーン電力証書。二人の幸せを願って、ハートでかわいらしく装飾されています。

限(キャップ)を割り当てて、過不足分を取引(トレード)させる「キャップ・アンド・トレード」制度がスタートしました。CO₂の削減にはまず、省エネ機器の導入などによる自主削減が必要なのですが、大きな建物では難しかったり、すでに削減を行ってきた企業では削減余地がないというケースもあり、電力自体をCO₂フリーにできるグリーン電力証書への問い合わせは増えております。

グループ企業のイオスエナジーマネジメントは、電力使用のマネジメントと見える化を通じて、企業の省エネ化のサポートを行う会社ですが、省エネによって浮いたコストでグリーン電力証書の購入を勧めています。これにより、持ち出しゼロでほぼすべての電気のグリーン化が可能となるのです。また、東京・丸の内の新丸ビルでは、青森県にある当社の風力発電所から直接電力を供給する「生グリーン電力」という新たなグリーン電力使用の形をスタートさせています。

現在のところ、特に個人を対象としたグリーン電力証書の販売は行っていないのですが、1000kWhからであればどなたでも購入することができます。ウチの社員が結婚式をあげる際には、有志で証書を購入して、グリーンウェディングを行うのが恒例となっていますので、みなさんも行ってみたいいかがでしょう(笑)。また当社は、家電と住宅のエコポイントの環境寄付の対象団体となっています。15ポイント以上寄付いただいた方には、寄付ポイント相当の証書を発行しておりますので、ぜひ余ったポイントなどがありましたら申し込んでみてください。

池)が使われており、電力を安定化させて送電することができる。日本風力開発グループでは今年8月より、この二又発電所から自営送電線を引き、小型蓄電池や電気自動車、太陽光パネルを備えた「スマートハウス」に100%CO₂フリー電力の供給を行う実証モデルを実施。停電時や供給過剰時などさまざまな状況下で実験を行い、蓄電池開発やスマートグリッドに有用なデータの収集を行っていく。



二又風力発電所